

科目名称	プレゼンテーション技法				ビジネス・キャリア	(○)	オフィス情報	(○)	
英文科目名称	Techniques of Presentation				グローバル・コミュニケーション	(○)	医療事務・医療秘書	(○)	
科目コード	531920	授業形態	演習	単位数	2				
教員氏名	山本 浩貴		年次配当	2年次	前期	ホテル・観光	(○)	大学編入	(○)
実務経験教員担当	(有)・無		アクティブラーニング		(有)・無				
授業概要 及び授業方法	<p>プレゼンテーション技法について、実技を中心に理論も絡めて学習する。社会状況を見ながら、TBL (Team-Based Learning) を活用したアクティブラーニングを活用してコミュニケーション能力の育成も図りたいと考えている。実社会において、プレゼンテーションソフトを使ったプレゼンテーション技術は必須となっているため、実技であるPowerPointの活用技術とプレゼンテーション技術の向上を目指す。課題の提出にも重きを置く。</p>								
関連する科目	プレゼンテーション演習Ⅰ・Ⅱ				卒業認定(学習成果)との関連	①②			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション。成績評定。コミュニケーション能力の育成とTBLについて</li> <li>2. PowerPointの基礎</li> <li>3. プレゼンテーションの作成。スライドの作成と追加。</li> <li>4. プレースホルダーの編集</li> <li>5. オブジェクトの作成1。表の作成。グラフの挿入</li> <li>6. オブジェクトの作成2。SmartArtの挿入。クリップアートの挿入</li> <li>7. オブジェクトの作成3。写真の挿入。ワードアートの挿入。図形描画</li> <li>8. 特殊効果の設定。特殊効果。画面切り替え効果。アニメーション効果の設定</li> <li>9. プレゼンテーションの実行と印刷</li> <li>10. スライドマスターと既存データの活用</li> <li>11. 発表課題の作成1</li> <li>12. 発表課題の作成2</li> <li>13. 課題発表</li> <li>14. 検定対策問題対策1</li> <li>15. 検定対策問題対策2</li> </ol>								
授業時間外の学習	繰り返し練習し復習を重点的にしてほしい。授業時間外に翌週の授業目までに1時間程度を復讐の時間に充ててほしい。								
授業の到達目標	プレゼンテーションソフトの活用能力を身に付け、社会人として活用できるレベルの技術を身に付けてほしい。プレゼンテーション技能認定試験初級レベルを到達目標とする。								
課題に対するフィードバック	課題に対しての評価や助言を授業中に行う。				評価方法・基準	授業中の小テスト・課題提出(50%)、定期試験(50%)で評価する。			
テキスト	「PowerPoint2019テキスト」 (ムゲンダイ出版)								
参考書	別途指示する。								
備考									